

安心と信頼、良質なてんかん・神経の包括医療

静岡てんかん・神経医療センター情報誌

令和4年 冬 第68号

あかり

A K A R I

- 静岡市静岡医師会とのてんかん診療連携システム - 1
- 重心病棟入院中の患者様への
コロナワクチン接種について ————— 3
- 薬の正しい「保管」で安心・安全 ————— 4
- ボランティア活動表彰及び感謝状贈呈式を行いました 6
- 第75回 国立病院総合医学会がWEB開催されました 6
- 外来再診の診療体制/医療連携室 ————— 7
- はじめて当院を受診される方へ/当院へのアクセス/本 — 8

初夢から正夢へ

静岡市静岡医師会との

てんかん診療連携システム



副院長
今井 克美

初夢という、一富士、二鷹、三茄子が有名ですね。静岡市では、富士を愛でながら、鷹匠町の洒落たお店で、折戸なすに舌鼓を打つと正夢が叶うかもしれません。

てんかんに関しては医療連携に関する夢が以前からありました。当院のてんかん部門は難治性てんかんを主な対象にしていると思われるがちですが、てんかんかどうかの診断や、

治療を始めるべきかどうか、てんかんに関連した様々な社会的問題や困難さについての相談にも応じることで、てんかんを持つ人、家族、何らかのかかわりのある方々のお役に立てるように努力する役割があると考えています。今までは、もと国立病院だから患者さんを紹介しにくいとか、お仕事の休みがなかなか取れないので通院が困難といった苦言を小

耳に挟んだり、気軽に患者さんをご紹介いただくにはどうしたらいいかなどの悩みがありました。これらを少しでも解決するために、静岡市静岡医師会(葵区と駿河区)とのてんかん診療連携システムを開始することになりました。

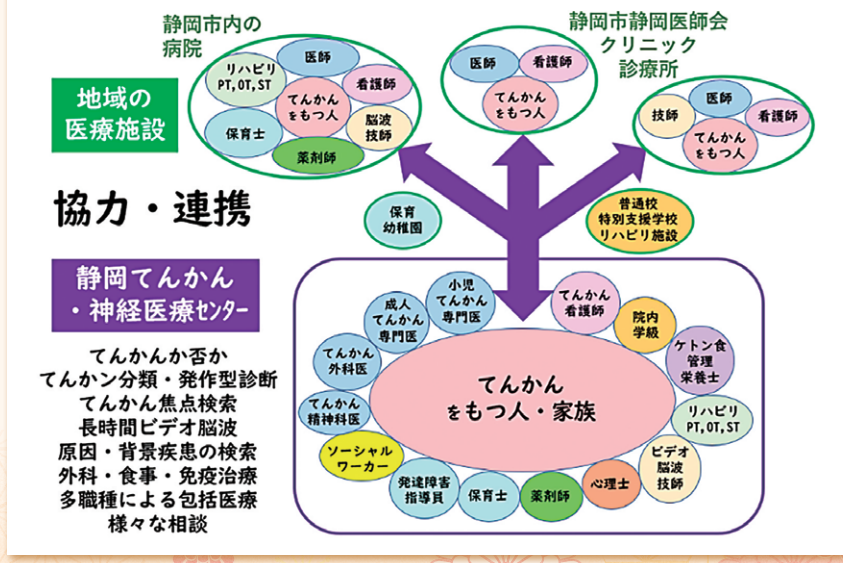
世界保健機構(WHO)は2015年にてんかんに関する特別決議を採択し、てんかん医療の普及と底上げ、正しい理解と偏見解消に向けての啓発活動の強化を掲げました。同年に厚生労働省は全国てんかん対策地域診療連携整備体制モデル事業を開始し、てんかんに関する診療体制の整備、多科・多職種連携、医療従事者向け研修、一般市民向け啓発活動を推進するために、当院を含む全国8病院をてんかん診療拠点機関に指定し、その後にてんかん支援拠点病院と名前を変えて全国23病院に増えています。

当院では従来から医師、看護師、検査技師、専門職(保育士、保健師、リハビリ、支援員など)を対象としたてんかん研修を毎年開催し、ホームページではてんかん情報センターで様々な情報を提供すると共にてんかんホットラインで各種相談に応じ、毎年3月に静岡市青葉シンボル

ロードで開催されるこころのバリアフリーイベントやSBS祭りでブースを開設して一般市民へのてんかん啓蒙活動を続けてきました。

今年1月からは正式に開始された静岡市静岡医師会とのてんかん診療連携システムは、医師会の診療所から気軽に当院をご紹介いただけるようにすると共に、症状の安定している患者さんは普段はお近くの診療所に通院していただいて必要に応じて当院を受診して治療方針を相談できるなど、情報共有・情報交換の活性化が期待できます。てんかんを持つ人、ご家族の長期的通院がより容易になり、より多くの方がより適切なてんかん診療を継続して受けることができ、当院のてんかんに関する医療資源をご活用いただけるようになることを心から願っています。近い将来、静岡市全域、静岡県、さらには全国へと密な診療連携を広げていきたいという初夢が正夢になることを心から願っています。

静岡市静岡医師会(葵区・駿河区)との医療連携





重心病棟入院中の患者様への コロナワクチン接種について

C1病棟 松下 剛

コロナウィルスが猛威を振るう中、入院患者様の生活も一変しました。以前は、ご家族様が自由に面会に訪れ、患者様と穏やかな時間を過ごされる姿がよく見られました。しかし、コロナウィルスがまん延したことで、感染防止の対策のため、面会中止や面会制限等を実施しなければなりません。皆さまのご協力もあり、現在まで病院内でのクラスター発生などは無く経過しております。

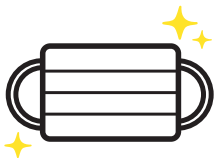
ご家族はワクチン接種後の重篤な副反応がニュースなどで報道される中、ワクチンを接種すべきかどうか悩まれたと思います。病院としても、接種直後に起こりうる副反応に対し、医師への連絡方法や薬剤の準備、観察の方法や期間、症状に対する処置をどうするかを医師、看護師で検討し、方法を考えたうえで接種当日を迎えました。幸いにも接種自体もスムーズに行うことができ、重篤な副反応もなく、無事に2回の接種を終えることができました。接種後に面会に来られたご家族様に接種が終了したこと、接種後の状況についてお話しすると、皆様



一様に安心した表情をされていたのが印象に残っています。

コロナウィルス感染については日本だけを見れば落ち着いたように見受けられますが、新たな変異株が出てくるなど予断を許さない状況が続いています。患者様にワクチン接種を行ったことで安心するのではなく、今までと同様に感染対策を実施し、このコロナ禍を乗り切りたいと考えています。その結果、ご家族様が自由に患者様に面会できるようになることを願っています。

マスク着用



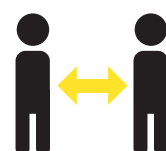
手洗い



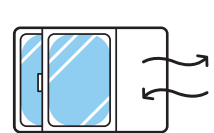
手指の消毒



距離の確保



定期的な換気



薬の正しい「保管」で安心・安全

薬剤部 薬剤師 杉山 堯紀

みなさんは「薬の保管」をどのようにされているのでしょうか？ 薬によっては「光」、「温度」、「湿度」に影響を受けやすい性質があり、有効成分の含有量を下げることがもちろんのこと、胃や腸など決まった部位で溶解するなど特殊な技術でつくられている薬もあり、適切な保管がされないことで、薬本来の効果が十分に発揮されません。病院や保険調剤薬局で薬を受け取ったときに、「すべて一包化になってない。粉碎調剤がされていない。別にシートになっていた。」「乾燥剤や遮光袋が入っていた。」というようなことはなかったでしょうか？ これは薬を服用するまでの安定性が維持できるように調剤されているからです。

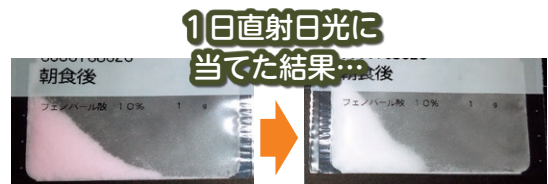
当センターで多く用いられる抗てんかん薬の特徴は治療有効域が狭く、血中濃度の測定が必要な薬剤です。てんかん発作を抑えるためには血中濃度が有効域を維持できるよう決められた量の服用が必要不可欠です。薬が適切に保管されていない結果、有効成分の含有量が下がったらどうなるのでしょうか？ 薬の効果が十分に発揮しない可能性があることから、薬の保管も重要となります。

「光」 遮光袋に入れて保管しましょう

●薬によっては日光や可視光線の光に当たることで、色の着色や脱色、有効成分の分解が起こります。例えばパーキンソン病に用いられるカバサル錠(成分名：カベルゴリン)は光の影響を受けやすく、0.25mg錠は温度25℃、成り行き湿度、1000ルクス(明るいオフィス程度の明るさ)で保管した場合には、14日間で錠剤の色調が白色から黄白色に変わるとともに、薬の有効成分が約90%に低下します。そのため、一包化や粉碎ができなかったり、遮光袋に入っているのです。

●抗てんかん薬であるフェノバル散(成分名：フェノバルビタール)はピンク色の粉薬が直射日光に当たることで、粉薬に含まれる添加剤が光と反応して脱色が生じます(図1)。実際には有効成分には影響がありませんが、一般に含有量を測ることは難しく、見た目の変化は有効成分が低下している恐れがあるため注意が必要です。

【図1】フェノバル散の脱色



薬は光の当たるところを避けて、渡される薬袋(透明な袋は×)、遮光袋、遮光可能な容器に入れて保管しましょう。

「温度」 薬に適した温度で保管しましょう

●多くの薬は室温(1℃～30℃)で保管が可能です。しかし、室温では有効成分の安定性が保てず、冷所(1℃～15℃)保管する薬も存在します。多発性硬化症に用いるアボネックス(成分名：インターフェロンベータ-1a)は有効成分がタンパク質であり、2℃～8℃で保管する薬です。温度25±2℃、湿度60±5%の条件で保管した場合には分解が認められた報告があります。

●坐薬は体内で効果的に作用するよう様々な基剤が用いられています。そのため、室温で保存するもの、冷所で保存するものがあります。

薬は指示された場所で保管しましょう。また、室温で保管する薬であっても、夏場の車内での保管や冬場の暖房器具の近くでの保管は避けましょう。

坐薬に関しては室温で保管するものも冷所で保管ができるため、冷所で保管するのがよいでしょう。

「湿度」乾燥剤を入れて、空気が入らないようにしっかり密閉しましょう

- 温度の影響を受けやすい錠剤をはじめ、口腔内崩壊錠といった水なしで服用できる錠剤には湿度に弱いものがあります。空気中の水分を吸って、ひび割れを起こしたり、溶けだしたりすることがあります。そのため、一包化や粉碎ができず、ヒートでのお渡しになります。
- 抗てんかん薬であるデパケン錠やセレニカR錠(成分名はどちらもバルプロ酸ナトリウム)は吸湿性が強く、空気中の水分を吸収することで錠剤が溶け出してしまいます(図2)。溶け出した液体の物質はデパケンの有効成分ではなく、錠剤のコーティングや錠剤に含まれる添加物の可能性があると考えられていますが、服用を避ける必要があります。

【図2】デパケン錠の吸湿性



服用する直前まで、調剤してもらった状態を保ちましょう。渡された薬袋に乾燥剤が入っている場合には、空気が入らないように密閉、もしくは密閉できる容器に入れて保管しましょう。

その他 その薬にあった保管方法で

- てんかん重積状態に使用する薬、ブコラム口腔用液(成分名:ミダゾラム)という新薬が2020年12月に発売されました(図3)。プラスチックチューブ内にシリンジが封入されており、シリンジ内に薬液が入っています。薬液がシリンジ先端のゴム部分に吸収されるおそれがあるため、立たせた(ふたを上にした)状態で保管する必要があります。容器を寝かせて温度25℃、湿度60%の条件下で保管した場合、6ヵ月までの安定性が認められていますが、温度40℃、湿度75%の温度、湿度が上昇した条件のもとでは3ヶ月で含量低下が認められています。この製品のシリンジのゴム部分より成分を調べた試験では、有効成分が検出された報告もあります。

【図3】ブコラム口腔用液



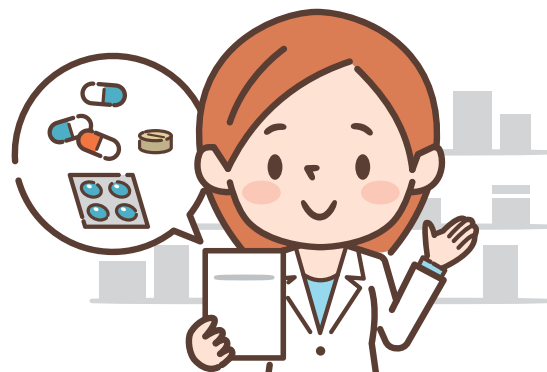
薬はそれぞれにあった保管方法が必要であり、決められた通りに保管しましょう。

まとめ

薬剤師の調剤業務は単にその場の調剤だけではなく、薬を服用するまでが調剤に含まれます。当院薬剤部では長期(90日)にわたる処方調剤において、薬を安全に服用してもらうよう、当院独自の厳しい条件を設けて調剤しています。

近年、新しい剤形が開発され、治療の幅が広がる一方、使用方法(服用方法、保管方法)も複雑化しています。調剤された薬は薬袋に入れて、指示された条件で保管することが重要です。

薬に外観異常が見られるようでしたら、服用せずに調剤元までご連絡ください。



ボランティア活動表彰及び感謝状贈呈式を行いました 管理課 福島 啓介

コロナ禍により当院でのボランティア活動の受入は休止していましたが、病院の屋外での施設整備や美化活動については、屋外ということもあり、令和2年10月より都田克己様と土田一様は当院へのボランティア活動を再開いただき、現在も引き続き尽力いただいています。

活動内容としては、長年にわたり重度心身障害者(児)病棟のウッドデッキの清掃や補修、柵の塗装、A病棟のベランダの清掃等の院内整備、美化活動です。

コロナ禍においても当院にとって多大な貢献をいただきましたので、令和4年1月24日(月)に表彰及び感謝状贈呈式を実施いたしました。



ボランティア表彰式の様子
写真(左)都田様 写(右)土田様

第75回 国立病院総合医学会がWEB開催されました

令和3年10月23日(土)に第75回国立病院総合医学会が「社会の大転換期における国立医療救う、支える、育む、拓く ～連帯と挑戦～」をテーマとしてWEB開催されました。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染防止のため、残念ながらWEB開催となりましたが、当院から以下の者が参加いたしました。

部 署	氏 名	発表形式	テ ー マ
リハビリテーション科	橋本 佳那子 石川 佳歩	ポスター	中等度脊髄小脳変性症患者に対するアプローチ ～運動療法にロボットスーツHALを取り入れた一例～
療育訓練室	望月 恵 田辺 美怜、島田 明義、 山崎 悦子	ポスター	通所事業ににおけるインターネット環境を利用した他事業所との交流会を実施して
看護部	小池 玲香 八木 正明、星川 真保	ポスター	重症心身障がい児(者)の患者家族のDNRに対する理解、家族の意思決定支援のための看護師としての関わりを考える

診 療 体 制

てんかん科		午前の診療時間は8:30~12:00 午後の診療時間は13:00~16:30									
診察室	曜日	初 診					再 診				
		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
第1診察室								山崎	川口	山崎	白井
第2診察室						荒木 保清	徳 本	池田仁 <small>午前のみ</small>	荒 木	大 松	
第3診察室			今井 克美		白井 直敬	今井 克美	今 井				
第4診察室									日 吉 (代診)		川 口
第5診察室							池 田 仁	池 田 浩	池 田 浩	寺田清 (代診) <small>※第4週はなし</small>	
第6診察室							芳 村			芳 村	松 平
第7診察室				山口 解冬				荒 木			山 口
第8診察室	高橋 幸利				高橋 幸利			西 田	高 橋		近 藤
第9診察室			川口 典彦	芳村 勝城			重 松			大 谷	大 谷
第12診察室	西田 拓司			松平 敬史	池田 仁	山崎 悦子					

脳神経内科		初診				
診察室	曜日	月	火	水	木	金
		第10診察室	午前 午後	高嶋	小尾	小尾
		小尾 智一	小尾 智一	小尾 智一		小尾 智一
第11診察室	午前 午後	杉浦	杉浦			山崎
		杉浦 明		寺田 達弘		山崎 公也 尾内 <small>第4週</small>
第13診察室	午前			高嶋		

特殊外来		月・水	小尾 智一
認知症疾患医療センター		金	山崎 公也
	遺伝カウンセリング外来	適宜	高橋 幸利 小尾 智一

再来診療は予約制です。予約が出来ない場合は午前中にお越しください。

地域医療連携室のご案内

医療機関間のコミュニケーションを円滑に行なうために、地域医療連携室を設置しています。ご利用ください。(平日)

T E L ■ 054-246-4580

F A X ■ 054-246-4607

E-mail ■ 307-renkei@mail.hosp.go.jp

当院では、脳波、筋電図、誘発電位、脳磁図、終夜ポリグラフ、CT、MRI、SPECTなどの検査が可能です。共同利用も可能です。上記、地域医療連携室にお問い合わせください。

広報誌編集委員会

編集人 ■

西田 拓司 松下 剛 横山 由香
矢嶋 隆宏 佐倉 裕二 葛城 裕幸
田中佐代子 高橋 輝 長田 英喜
福島 啓介

発行 ■ 令和4年1月31日

国立病院機構

静岡てんかん・神経医療センター

〒420-8688 静岡市葵区漆山886

T E L ■ 054-245-5446

F A X ■ 054-247-9781

U R L ■ <https://shizuokamind.hosp.go.jp>

E-mail ■ 307-shizuokamind@mail.hosp.go.jp

はじめて当院を受診される方へ

◆診察は予約制になっています◆

1 受診のための手続きは…

予約は、本人・家族は予約センター(054-246-1065)、病院からは地域医療連携室(054-246-4580)
その際、ご本人の氏名・性別・生年月日・住所・電話・保護者氏名をお尋ねいたします。電話をいただきますと、その場で受診日を決め、折り返し当院からくわしい書類をお送りいたします。

2 緊急を要する時は…

受診日は病状に応じてできるだけ対応いたしますので、緊急を要する時はその旨をご連絡ください。

3 紹介状について

現在すでに病院へかかっておられる方は、主治医の紹介状があることが望ましいですが、なくても結構です。紹介状がない場合は別途費用(2,750円)がかかりますので、ご了解ください。病院からの資料もあれば望ましいですが、なくても結構です。

4 セカンドオピニオンについて

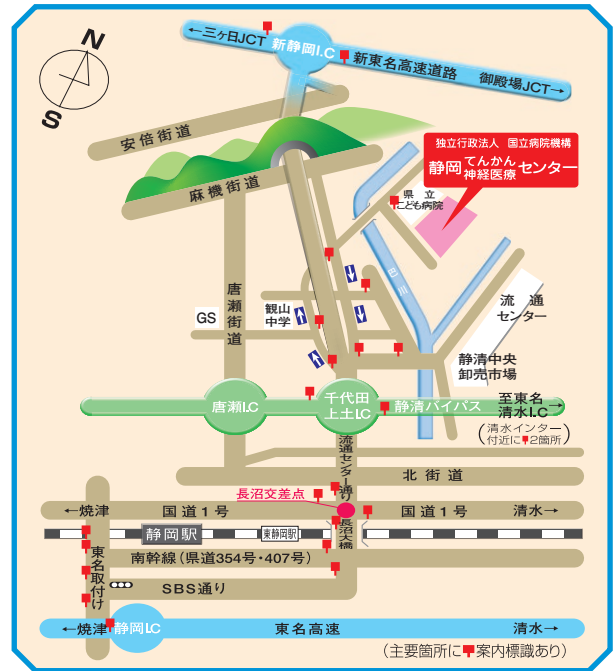
セカンドオピニオンもお引き受けいたします。

5 静岡市認知症疾患医療センターについて

認知症の受診やご相談は専門医療相談 ☎054-246-4608

当院へのアクセス access

バスをご利用の場合	● JR静岡駅前、北口バスターミナル5番線より静岡鉄道バスにて、こども病院線「67 こども病院・神経医療センター」行に乗車、終点の「静岡神経医療センター」で下車。全所要時間は約30分。 片道料金は大人370円、小児190円。
タクシーをご利用の場合	● JR静岡駅前(北口)より乗車。 所要時間は約20分。料金は2,500円程度。
お車の場合	● 東京方面から ● 東名高速清水インターより、静清バイパスを静岡方面に向かい、千代田・上土出口から流通センター通りを北へ約3分。所要約20分。 ● 御殿場JCTで新東名高速道路へ乗換。新静岡ICより、案内板に従い直進。所要時間約7分。
	● 名古屋方面から ● 東名高速静岡インターより、国道1号線を清水方面に向かい、長沼交差点を左折、流通センター通りを北へ約10分。所要約30分。 ● 新東名高速道路・新静岡ICより、案内板に従い直進。所要時間約7分。



本

●抗てんかん薬ポケットブック(改訂第6版)

【日本てんかん協会、2016年】

禁忌、重大な副作用、重大な副作用疾患別症状、体内動態と主な副作用、相互作用、抗てんかん薬プロフィール、新規抗てんかん薬の開発状況、Q & A、識別コード(錠剤のみ)を掲載。

●てんかん症候群(第5版)

～乳幼児・小児・青年期のてんかん学～
【中山出版、2014年】

てんかん学の「ブルーガイド」として世界的に普及している「Epileptic Syndromes(原書第5版)」の日本語翻訳版です。4版よりも10%以上ボリュームが増え、より詳しい内容になり、他では決して得られない極めて貴重なてんかん発作の動画付き。静岡てんかん・神経医療センターのスタッフが総力をあげて翻訳しています。

●新 小児てんかん診療マニュアル 【診断と治療社、2019年】

多くの読者に支えられ改訂を重ねてきた本書。今回、2017年の新しいILAE てんかん発作分類提案に基づいた小児てんかん診療を可能とするために、ここに「新版」として生まれ変わりました。新規抗てんかん薬だけでなく、新分類で重視される病因別の特徴や心因性非てんかん発作、遺伝子検査、MRSといった新しい画像検査など、てんかん学の進歩をたくさん詰め込みました。

●プライマリ・ケアのための

新規抗てんかん薬マスターブック(改訂第2版)

【診断と治療社、2017年】

「副作用のない治療によるてんかん発作の完全抑制」は、治療を担当する医師および患者さんとそのご家族にとって、切実な願いです。2006年以降、「新規抗てんかん薬」とよばれる新しい抗てんかん薬が順次発売され、今後しばらく、新規抗てんかん薬の発売が続くと予想されています。本書は、これらの新規抗てんかん薬の使い方をわかりやすく解説したものです。小児と成人に分けて、エビデンスやガイドラインに基づいて、当院のスタッフがわかりやすく執筆しています。当院高橋幸利先生の編集です。

てんかん情報センターのご案内

てんかんに関するさまざまな情報を集積したセンターが外来棟1階にあります。どうぞご利用ください。次の活動を行っています。

- ① てんかんに関する書籍・雑誌・ビデオなどの閲覧・貸し出し(自己学習)
- ② ホームページによる情報提供 <https://shizuokamind.hosp.go.jp/epilepsy-info/>
- ③ てんかん協会との連携
- ④ 医療などの相談(予定)